

深宇宙への旅

～アルマ望遠鏡でみえてきた100億年前の宇宙～

銀河はどのように誕生し、どのように現在の姿に進化してきたのか？
まだわからないことがたくさんあります。この謎を解くために、南米チリのアルマ望遠鏡を使った「深宇宙」の探査が世界中の天文学者によって進められています。
この講演では、アルマ望遠鏡を使った「サブミリ波」の観測からわかってきた「深宇宙」に関する最新の研究成果をわかりやすくご紹介します。

平成29年12月15日(金)

会場：長崎県立大学

○主会場：佐世保校 505教室

○遠隔会場：シーボルト校 大講義室

第1部 16:00～16:15

「自然科学研究機構について」

自然科学研究機構長 小森 彰夫氏

第2部 16:15～17:00

「深宇宙への旅

～アルマ望遠鏡でみえてきた
100億年前の宇宙～」



【要事前予約】

参加無料／どなたでも参加できます

【お問い合わせ】

長崎県立大学 佐世保校 企画広報課 企画広報グループ
〒858-8580 佐世保市川下町123
TEL：0956-47-5856 FAX：0956-47-8047
E-mail：kikaku@sun.ac.jp

講師

伊王野 大介 准教授

(いおの だいすけ)

大学共同利用機関法人
自然科学研究機構
国立天文台 チリ観測所



【略歴】米国マサチューセッツ大学を卒業後、スミソニアン天文台研究員、国立天文台野辺山宇宙電波観測所助教などを経て、現在、国立天文台チリ観測所准教授。東アジア地域アルマプロジェクトサイエンティストを務める。アルマ望遠鏡などの電波望遠鏡を使って、銀河に存在するガスや塵の研究を主に行っている。特に、銀河の衝突現象がガスや星の誕生に与える影響について研究している。